

## 2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 16日

所属・職名	商経学部・教授	氏名	関口 雄祐
研究課題	睡眠や疲労, およびこれらの関連行動から生物を理解する		
研究キーワード	動物行動, 睡眠, 回復機能	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>・鴨川シーワールド (千葉県鴨川市) にて, 2016年夏期出生のバンドウイルカ母仔の行動観察を継続しており, 今年度は, 6月, 9月, 12月, 3月に実施した. (令和2年度も継続予定)</p> <p>・くじらの博物館 (和歌山県太地町) にて, 9月および2月にスジイルカ, マダライルカ, シワハイルカ, カズハゴンドウの行動観察を行った (令和2年度も継続予定)</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等 (海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>1 【著書】眠れる美しい生き物, エクスナレッジ, 2019, pp160</p> <p>2 【論文】イルカの睡眠, Clinical Neuroscience (月刊 臨床神経科学), 37(7), pp.774-777, 2019</p> <p>3 【論文】ヒト半球睡眠の実験的検討, 千葉商大紀要, 57(3): 41-55, 2020</p> <p>4 【その他】動物たちの睡眠図鑑, はれ予報 (しんきんカード会員誌), 2019.6月号</p> <p>3. 主な経費</p> <p>データ解析用にノート PC (Let's note SV7) を備品として購入. そのほか, 調査旅費 (千葉県鴨川市, 和歌山県太地町) の一部として支出した.</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰, 研究資金の受入状況等)</p> <p>特になし</p> <p style="text-align: right;">(本文は1ページ以内にまとめること)</p>			